

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972100394
法人名	医療法人 レザレクト
事業所名	グループホーム はなみずき
訪問調査日	平成20年9月9日
評価確定日	平成20年10月24日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972100394
法人名	医療法人 レザレクト
事業所名	グループホーム はなみずき
所在地 (電話番号)	香南市野市町西野1886-3 (電話)0887-56-5503

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年9月9日	評価確定日	平成20年10月24日

【情報提供票より】(平成20年8月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	7(内兼務1)人、非常勤4人、常勤換算7.5人

(2) 建物概要

建物形態	併設 <u>単独</u>	<u>新築</u> / 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~34,000 円	その他の経費(月額)	15,100 円
敷金	有(円)	<u>無</u>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000円	

(4) 利用者の概要(8月21日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 88.7 歳	最低	81 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡村病院、藤川歯科医院、藤川クリニック
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街化と田園風景が混在する地域の中に位置する、花に囲まれたグループホームである。家族には、「このグループホームで最期まで見て欲しい」という切なる願いがあり、その思いを、管理者、職員、母体法人関係者が良く理解し、連携を図って、本人や家族の気持ちを大切にしようと努めている。今までのターミナルケアの経験が、信頼と安心を与えている。地域との活発な交流は、近隣住民からの野菜の提供や文化活動、災害訓練への地域住民の積極的な参加協力など随所に窺われる。穏やかな利用者により良いケアを提供しようと努める職員の姿に、我が家にいるような自然体の生活を感じることができる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題については職員で話し合い、改善計画を立て実施している。「金銭管理と報告」、「家族会の運営上の工夫」、「同業者との交流」、「個人情報の保護」、「災害対策」については改善され、「運営推進会議の充実」と「市町村との連携」については、継続して改善に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については職員全員で話し合い、管理者がまとめている。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所からの報告が多いが、ヒヤリハットを会議で報告し話し合うなど双方向的な会議になるよう努めている。外部評価の結果については報告しているが、特に意見は出ていない。</p>
重点項目 ③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会には家族からの要望で職員が1名参加し、年1回開催している。家族会を利用して認知症についての勉強会を開催して欲しいとの要望があり、現在検討中とのこと。あらゆる機会を利用して、意見や要望が気軽に出来るような場の工夫と仕組づくりを期待したい。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>清掃活動、神祭などへの参加、趣味の交流など、地域との接点を持つように努めている。防災訓練には地域住民の積極的な参加もあり、また、野菜を届けでもらったりして、地域との連携を深めている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 理念を見直し、地域密着型サービスとしての独自の理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月3回の職員会で話し合い、地域との関わりを持つように配慮し、意識づけしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 人生の先輩として尊敬の念を持ち話しかけるように心がけ、笑顔で接し、利用者の生きる力、出来ることを大切にしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 清掃活動、神祭などへの参加、趣味の交流など、地域との接点を持つように努めている。防災訓練には地域住民の積極的な参加もあり、また、野菜を届けてもらったりして、地域との連携を深めている。		
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 自己評価については職員全員で話し合い、管理者がまとめている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善課題については全員で話し合い、管理者が計画を作成して職員に徹底し、改善に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 利用者の状況、職員の異動、行事等、事業所からの報告が多いが、ヒヤリハットなどを会議で報告し話し合うなど、双方向的な会議になるよう努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 メンバーから特に意見は出ていないが、会議で外部評価の結果については報告している。		外部評価の改善課題については、運営推進会議に報告するだけに留まらず、メンバーからの意見を引き出す工夫をすることを期待したい。また、自己評価についても会議の議題とし、話し合うことを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 運営推進会議や介護保険関係の報告、文化祭への招待以外に行き来はほとんど無い。	○	市に問い合わせしても多忙のため返事をなかなかもらえないという実情もあるが、事業所の方から市町村担当者に積極的に運営や現場の実状、考え方等を伝えるとともに、課題解決に向けて共に取り組んでいくことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には声をかけ、遠方の家族には電話連絡して話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 月1回利用者の暮らしぶりを手紙で家族に伝えるほか、ホーム便りを年4回発行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 電話で報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 月1回家族の来所時に確認をもらうか、請求書と一緒に金銭出納帳をコピーし郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 苦情箱を設置し、家族会にも家族からの要望で職員が1名参加して年1回開催しているが、もう少し意見や希望が気軽に出せる場面作りが期待される。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 利用者から意見や要望が出た場合は、受付ノートに記入し職員会で話し合い個別対応するとともに、全職員に周知してサービスの質の向上に役立てている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 職員の異動はあまり無く、馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 管理職は1カ月の引継ぎ期間を採り、職員が代わる時も、新規採用者の実習期間を設け、他の職員もフォローし、スムーズに移行できるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 職員に研修情報を提供すると共に、法人内外の研修に積極的に参加させている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 職員会で報告し、共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 香美市、香南市のGH連絡会が持ち回りで2カ月に1回勉強会を開催し、管理者や職員が互いに交流を図っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 家族からの聞き取り、病院からのサマリーやケアマネからの情報提供により、生活歴や心身の状況の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 希望があればお試しの宿泊を無料で行っている。 <input type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 管理者1人で面接している。	○	複数の職員が面接を行い、多面的・多角的に情報収集することで、利用者の情報も増え、利用者が周りに馴染みながら、サービスの利用ができることにも繋がるので、入居利用希望者の面接は複数の職員で行うことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>以前は、雑巾を作ることもあったが、介護度が高くなる中で出来るだけ本人ができることを大切に、今は、着替え、タオルたたみ、食事の準備などをしてもらうようにしている。七夕祭りでは野菜飾りなどを教えてもらう場面もある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>職員が利用者へ寄り添いながら、表情や態度から本人の思いを汲み取り、共感している。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>本人への声かけや聞き取りの他、介護計画を立てる際やミーティングなどでも職員間で話し合い、希望や意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの情報を大切にしている。また、きれいな写真や押し花を見てもらい利用者の感性に訴え、その時の表情や態度で利用者の気持ちを把握するようにも努めている。</p>		
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族からの意見・要望を聞き、介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>1人の利用者のモニタリングを1人の職員が担当し、職員会で全員が意見を出し合い話し合っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3カ月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>退院後の介護計画は2週間から1カ月の個別の期間を設定し計画を立てるなど、状況の変化に応じてその都度計画を変更している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 管理者が看護師の資格を持っており、運営主体のクリニックと連携して、医療処置を受けながら事業所での生活が継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 外泊は基本的に家族が対応しているが、通院や送迎は職員が柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 職員が同行した場合は家族に報告し、家族が同行した場合は家族から結果を聞き取り、情報の共有をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 ターミナルケアの経験があり、看取りの同意書も取って早い段階から話し合いもを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 最後まで見て欲しいと希望する家族が多く、終末期に向けて関係者が連携して取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 トイレ誘導の声かけなど、本人を傷つけないように十分配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 採用時に研修し、個人記録のファイルの表紙には利用者の名前ではなく部屋の名前を記入し、訪問記録はそれぞれ本人の自室に置くなど、プライバシーの保護を徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 現在、個人情報保護マニュアルの作成を計画しており、採用時の研修、日々のミーティングやサービス提供場面でも徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 ゆっくり食事をしたい利用者や散歩を楽しみたい利用者など、一人ひとりの利用者の希望やペースに合わせて支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 下ごしらえ、盛り付け、台ふき、配膳、食器洗いなど、利用者ができることをゆっくりしたペースで進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 話しかけたり介助しながら、同じ料理を職員も一緒に食べている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 利用者の希望に合わせて入浴している。現在夜間入浴の希望者はいないが、希望があれば対応できる体制は整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒む利用者に対しては、血圧を測ったり、タイミングを見て声をかけるなど、支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 編み物、塗り絵、料理の下ごしらえ、洗濯物たたみ、花の水やりなど、楽しみごとやできることを提案し、能力を発揮する場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 バザーの出品物を作ってもらったり、七夕祭りの行事で飾り付けを教えてもらうなど、役割や楽しみごとを作り出すための働きかけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 散歩や近所のスーパーへ出かけるよう声かけし、支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 車椅子の利用者も戸外に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 日常の散歩のほか、月1回外食を楽しんだり、2～3日に1回買物に出かけたりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 日頃から地域との交流があり、利用者とは顔見知りの関係ができており、安心して外出し、何かあれば連絡してもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 避難訓練には地域住民の積極的な参加があり、災害時にいつでも駆けつけてもらえる関係が出来ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 定期的に点検を行い、非常用食料・備品も準備している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 チェック表で管理し、把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者からあまり希望は無いが、彩りや栄養面に配慮し、10時のおやつにも牛乳を摂るなど栄養バランスには気をつけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 保健師に見てもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 玄関には椅子、居間には畳のスペースとソファが配置され、一人になれる場所も確保し、居心地の良い共用空間になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 廊下の壁面には、押し花サークルの作品を額に入れて飾り、利用者も楽しんでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 玄関にはほうずきや季節の花を飾り、事業所周辺の風景も懐かしく、季節感や五感の刺激に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 使い慣れた筆筒や鏡台、花一杯の部屋や友人の作品を飾った部屋など、居心地良いその人らしい居室を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。 家族の協力は得られている。もし無い場合でも、職員が本人と一緒に取り組み工夫するようにしている。		